

1996 年《神戸音風景》の CD について

私たちの周りには、多くの音が氾濫しています。騒音があれば、心地よい音もあります。日頃気に留めない音があれば、非常に気になる音もあります。そんな神戸市内の音を、1 年間を通して記録しました。延べ録音時間はおよそ 400 時間に及びますが、その中から私が気に入った、神戸らしい音を収めました。しかし、この CD に収められた音が、神戸市内の音のすべてではありません。仕事の合間を使って、時間の許す限り録音に費やしましたが、録り損ねた音も数々あります。それらの音は、続編でのお楽しみと言う事でお許し下さい。

私は約 25 年程前から、自然の音や祭り囃し、花火大会やローカル鉄道の車内音などを、趣味で録音して楽しんでいます。1995 年には、当時住んでいた西宮市内の音を 1 年間記録しようと考えました。年頭に甲山の神呪寺で、除夜の鐘の音を録音しました。そして 1 月 17 日に、門戸厄神の厄除祭の雰囲気や録音する計画だったところ、「阪神・淡路大震災」が発生しました。借家が全壊したので、生まれ育った神戸市内へ転居、録音も中断を余儀なくされました。震災直後は録音どころではなかったのですが、何か趣味を生かして震災の記録をしたいと考えました。それは一部区間で運転が再開された、交通機関の車内アナウンスです。いつもは終点でない駅が、終点になってしまった車内のアナウンス集、CD「阪神大震災の記録=寸断された交通機関=」を自費制作しました。その後、震災から復旧・復興する音も含めて、1 年間の神戸市内の音を記録したいと考えて、まとめたのがこの CD です。

1997 年 2 月

射場 崇夫（イバ タカオ）